

地域にある様々な生の「一次情報」を市政に届ける取り組み

2020.8.15



総合グラウンド

相浦地区の精霊流しの会場設営に参加しました。

2020.8.28



小野町

地域の方々と改良が必要な道路を点検しています。

2020.10.14



相浦駐屯地

県立大学の学生と陸自水陸機動団を見学、意見交換。

2020.12.16



相浦町

子どもたちの通学路の安全対策を行っています。

自民党市民会議・スポーツ振興研究会 佐世保市総合グラウンドを視察



11月19日

講演会

自民党市民会議会派にスポーツ振興研究会が発足し、私は事務局長を拝命しました。11月には、昭和41年に整備され、老朽化が問題となっている佐世保市総合グラウンドを視察。民間企業から講師をお招きし、スポーツ施設を活かした地方創生について講演いただきました。本研究会は今後、超党派議連の発足を目指していきます。

佐世保市動物愛護管理センター整備事業



大湯町の西部芳世苑入口付近の建設現場

人と動物の共生社会を目指し、2021年度中に完成予定

長崎県立大学佐世保校キャンパス建替え



第1期(食堂棟・管理棟・武道場)が完了

第2期工事は地域交流棟の整備が計画されています。

新型コロナウイルス感染症や発熱症状のある方の受診・相談

《発熱・倦怠感などの症状がある方》

《一般的なご相談》

<p>かかりつけ医等の身近な医療機関</p> <p>受付時間等は各医療機関にお尋ねください。</p>	<p>受診・相談センター</p> <p>0120-409-745</p> <p>24時間対応(土日祝日を含む)</p>	<p>一般相談窓口</p> <p>0956-25-9809</p> <p>9:00~17:30(平日のみ)</p>
--	---	---

受診の前に必ず医療機関に電話で相談してください。正確な情報を入手し、冷静な判断と適切な行動をお願いします。

今や誰もが新型コロナウイルスに感染するリスクを抱えています。感染者や関係者への差別や偏見の広がりを防ぎ、検査の必要と思われる方が躊躇なく安心して受診・治療が出来ますように。



《プロフィール》 たやま ふじまる 佐世保市議会議員 田山 藤丸

- 1989年7月23日生まれ(31歳)
- 長崎県立大学経済学部地域政策学科 卒業
- 衆議院議員・県議会議員の秘書を歴任
- 佐世保市議会議員(1期目・最年少)
- ⇒文教厚生委員会 委員
- ⇒石木ダム建設促進特別委員会 委員
- ⇒会派:自民党市民会議
- 保護司、相浦青年会、消防団第26分団
- 佐世保私立幼稚園協会 顧問
- 妻、長男、次男と愛宕町在住

ふじまるの#つぶやき

長男は幼稚園に入園し、最近では体操教室に通い始めました。次男も元気に成長して、ようやくつかまり立ちが出来るようになり、もうすぐ歩きそうです。改めて、新型コロナ禍で私たちの日常を守るために日々奮闘しておられる医療従事者の皆様はじめ、すべての方々に感謝申し上げます。旧年中は大変お世話になりました。新型コロナ感染患者の皆様が、1日も早くご回復されますようお祈り申し上げます。



ふじまる通信

佐世保市議会議員

まちを繋ぎ
ゆめを育む
若い力。



公式HP



未来への責任。

【田山ふじまる事務所】長崎県佐世保市相浦町220 TEL/FAX 0956-59-8762 携帯:080-1795-6159



12月11日

定例会一般質問・朝長市長と質疑



11月28日

急病診療所にてコロナ対策を視察

新たな年がスタートしました。皆様には日頃より一方ならぬご厚情を賜り、深く感謝申し上げます。昨年は新型コロナウイルスの影響で、これまで当たり前だったことが当たり前ではなくなり、人々の意識や行動は大きく変わりました。未来に期待と不安を感じる今だからこそ、私たちの行動が問われています。引き続き、市民生活の安心を守る新型コロナウイルス対策に全力を挙げ、将来を見据えた新たな政策立案やまちづくりに取り組みます。とくに前回の一般質問では、公共施設のインターネット環境の整備、相浦の圃場整備地を活用した「農業」と「スポーツ」の可能性について朝長市長に提案しました。本年も、子育て世代として、持続可能で安心できる住みよい佐世保市を目指し、未来への責任を果たしていく決意です。結びに、新型コロナウイルスの早期終息を願ひ、皆様のご健康とご隆盛を心よりお祈り致します。

田山藤丸 拝

● お困り事やご要望・ご意見等、お気軽にご相談ください ●

台風9号・10号の災害対策、復旧に向けた取り組み

【台風9号】高島漁港の浮桟橋が崩落



台風直後の被災状況

佐世保市の離島、高島町では漁港の浮桟橋が崩落し、本土と島を結ぶフェリーが運航出来ない状況に陥りました。島民生活に様々な影響が出る中で佐世保市は10月1日より海上タクシーの利用料の一部補助を開始するなど、各種支援に取り組んでいます。同月10日には北村衆議院議員、朝長市長、溝口県議、山下県議と被災状況を視察し、島民の方々と意見交換を行いました。復旧作業も着実に進み、昨年末には仮発着場へのフェリーの運航が再開したものの、浮桟橋の本復旧には来年2月頃までかかる見通しです。



朝長市長と被災状況視察・意見交換

【2020.9月.一般質問】

■避難所におけるWi-Fi環境の整備

田山: 近年ではスマホ等を使って災害情報を収集する方も増えており、避難所における充電環境、Wi-Fi環境の整備を早期に行うべきではないか。

答弁: 今年度中にスマホ等が充電可能な蓄電池を初期段階で開設する34避難所に配備を行いたい。現在、Wi-Fi環境は整備されておらず、平時の利用を含めた整備の検討を関係部局と進める。

■非常用電源の整備など停電対策

田山: 2度の台風で市内の広範囲が停電した。災害対策拠点の各支所、避難所、離島部に対して非常用電源の確保と燃料備蓄を図るべきではないか。

答弁: 各支所には小型発電機を備えているが燃料の備蓄は行っていない。また避難所には非常用電源が整備されていないため、関係部局と検討を行いたい。

■防災ラジオの導入促進

田山: 豪雨時や河川沿いは防災行政無線が聞こえにくい。災害リスクの高い地域に防災ラジオを優先的に配備すべきだ。

答弁: 優先配備の考え方も含め整備する。

本年も現場主義を貫きます

《台風10号》



県立大学前のバス停



エレナ相浦店前



浅子小中学校体育館

右のQRコードより9月議会の一般質問が視聴できます。



4月1日より各地区の公立公民館が、コミュニティセンターへ移行します。

各地区の公立公民館の在り方を見直し、これまでの社会教育活動に加え、規約がなくとも3人以上であれば利用可能に、また企業や団体による収益を伴う事業や飲食も原則可能となり、利用の幅が広がります。

「公立公民館」から「コミュニティセンター」へ生まれ変わります。

2021.4.1 ここに、集い。ここで、出会う。

コミュニティセンターは、これまでの社会教育活動に加え、少人数での利用やランチミーティング、収益を伴うイベントなど、利用の幅が広がることで、気軽に集まり、楽しさや賑わいのある地域の拠点施設となります。コミュニティセンターで行われる様々な地域活動に多くの人が参加することによって、「自分たちの地域は自分たちでつくっていく」といった地域の活気につながっていくことが期待されます。

2021.4.1 「公立公民館」から「コミュニティセンター」へ生まれ変わります。

どう変わる？

- これまで、規約のある団体しか使用できませんでした。
- これまで施設内での収益活動はできませんでした。
- これまで施設内での飲食ができませんでした。

OK 規約がなくとも、3人以上なら利用可能です。

¥ 収益を伴う事業も実施可能となります。

🍴 所定の場所で、飲食ができるようになります。

例えば？

- ママ友達と調理室でおやつ作り
- 入場料を取って地域の音楽会を開催する
- 地域の会議を、ランチミーティングに

変わらないことは？

- サマースクールや高齢者大学等の社会教育主催講座は引き続き開催します。
- 利用時間や定期団体の利用はこれまで通りとなります。
- 町内会や地域活動団体で構成される地区自治協議会の事務局をセンター内に設置します。(条例で規程)
- 料金や予約時期の優遇により地区自治協議会や町内会によるセンターの利用促進を図ります。

地域活動はやりやすくなるの？

「公立公民館」から「コミュニティセンター」へ名称が変更します。

ンドの移転については、国・自治体が行う場合は法的に許可不要であると認識している。ただし、現施設が老朽化していることだけでなく、農地を転用してまで総合グラウンドを移転すべきかどうか、公共政策としての必要性・妥当性があることが認められなければならない、現状では難しいと考えている。

■スマート農業など農地の高度活用について

田山：農地の高度活用の一例として、ロボット技術やAI、IoTの先端技術を導入したスマート農業がある。農業の省力化・収益性の向上につながり、木質バイオマスや太陽光発電などと組み合わせ、食糧とエネルギーの地産地消にも貢献できる。これまで市長は、相浦土地改良区が優良農地であり、その開発の困難性について議会で繰り返し答弁してきた。一方で、具体的な活性化策を地域に提示できていない。

そこで、相浦圃場整備地を一体的かつ有効的に活用する方法を官民連携で調査研究を行うべきではないか。

答弁：市内の圃場整備地におけるスマート農業など、先端技術の活用を視野に入れた将来構想や活性化策を検討することは大変有意義であり、相浦土地改良区における可能性について調査研究を行うよう農林水産部に指示した。

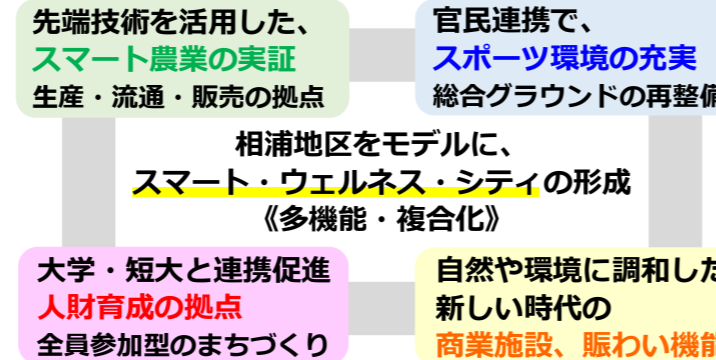
農業のスマート化が普及すれば、地権者をはじめ多様な経営体による連携や企業の新規参入につながり、地域の活性化が図られることが期待できる。現在、相浦土地改良区に地域全体の活性化策を検討する協議会が設立され、土地の有効活用について研究を深めていると伺っている。改良区の皆さんによる研究結果を踏まえ、相浦土地改良区を活用した地域振興策を検討し、取り組みを進めていきたい。

右のQRコードより12月議会の一般質問が視聴いただけます。ぜひご覧ください。

●質問項目（田山 藤丸）

1. デジタル環境の整備について
2. アフターコロナのまちづくりについて

田山ふじまるの提案（ビジョン） 農地を活かし、快適・健康・まちづくり



今回の一般質問を含め、地域の将来構想を朝長市長に提案、行政の後押しをお願いしています。皆様のご意見もお聞かせください。

2020.12.11 12月定例会 一般質問

相浦圃場整備地の将来構想について

令和2年12月議会一般質問において、相浦地区の広大な優良農地が有効活用されていない問題を取り上げました。かつて2004年には大型商業施設を誘致する計画が立ち上がり、その後も地域から「まちづくりの視点で開発すべき」との声が相次いできました。今回、私の議会質問も紹介させて頂きながら、皆様と一緒に、地域の将来や住みよい町の実現を考えていきたいと思っております。



農業、スポーツ、商業施設、その先へ コロナ禍の「その後」を見据えたまちづくりを提案。

相浦圃場整備地(相浦土地改良区)の現状

相浦土地改良区は総合グラウンド、長崎県立大学前に位置し、地権者128人で構成され、面積は約40ha、1996年度までに国・県・市が約20億円を投じて圃場整備が行われました。農地区分は国の甲種農地となっており、原則として開発は認められていません。現在は農家の高齢化と担い手不足により、稲作面積は3割未満、大半が牧草地となっています。佐世保市内には土地改良区が全15組織あり、同様の担い手不足や水路・農道の維持管理や施設の老朽化対策に苦慮しておられます。そんな中、土地改良法の改正で簿記の事務作業が複雑化することなどを理由に、相浦土地改良区は22年春までの解散に向けて準備を進める方針を決定しました。一方で、解散までの間、市に対して活性化策の提案を行うこととしています。



■相浦土地改良区に関する法的可能性について

田山：農地法・農振法の観点から、改めて相浦土地改良区の可能性について本市の認識を問いたい。まず、開発の例外許可として、地域の農業振興に係る自治体の計画に基づく施設とあるが、具体的にどのような関連施設が立地可能なのか。さらに、国または自治体が行う事業について開発の許可不要とあるが、現在、老朽化が問題となっている総合グラウンドを新総合運動公園として、この農地を活用して移転・再整備することは法的に可能か。

答弁：開発が可能な農業関連施設としては、農業用ハウスや植物工場、農地で生産された農産物の集出荷施設や加工・販売施設などがある。また、佐世保市総合グラウ

相浦地区を取り巻く環境の変化

相浦地区は人口約2万8千人、2010年に西九州自動車道の相浦中里ICが開通し、交通の利便性が大きく向上しました。現在は佐々ICから佐世保大塔IC間の4車線化工事も始まっています。さらに、2018年には新相浦地区公民館「あいあいプラザ」と「相浦公園」が圃場整備地内に整備され、2019年には佐世保相浦工業団地が完成し、分譲を開始しました。一方、陸上自衛隊相浦駐屯地に水陸機動団が新設され、隊員やその家族が大幅に増加し、2020年には水陸機動団から市に対し、商業・娯楽施設の整備など生活環境の改善を求める要望が行われています。新たなまちづくりが求められている背景には、相浦の農地の交通アクセスの良さ、総合グラウンドや大学を有し、学生や自衛隊など若い方々も多く住む相浦地区の特性があるのではないのでしょうか。

相浦土地改良区も新たな挑戦をスタート

2020年11月1日、相浦土地改良区に活性化推進委員会が設立され、佐世保市との協議を開始し、地域の若手や企業も参画、活性化策の検討が始まりました。

2020.11.24 市と相浦土地改良区が意見交換

改良区より役員の方々、市側より副市長はじめ関係部局が参加し、将来に向け話し合いました。

意見交換会の中では改良区側より農地の一体的な高度活用に関する将来構想と活性化策が市に対して提案されました。

改良区より活性化策を市に提案